

## 第五回 茅ヶ崎市地域公共交通会議（1/28） 会議録要旨

### （１）コミュニティバス東部循環市立病院線（小和田・松浪コース）の運行について

- ・コミュニティバス東部循環市立病院線（小和田・松浪コース）の辻堂駅西口の移設後の実態調査結果について報告を行った。
- ・運行本数が減少しているため、松が丘コース並みに戻していただきたい。特に夕方の時間帯は早々に運行が終わってしまい使いづらい。
- ・辻堂駅西口の移設は良いことであるが、現状の停車位置では乗車する人の利便性が低いので停車位置の変更や駅階段下への時刻表掲載などの改善をお願いしたい。
- ・まだまだPR不足であり、1回無料乗車券の配布など利用促進を図ってはどうか。
- ・限られたバス車両台数の中で運行本数の増加は難しい。まずは運行時間帯の見直しに取り組んでいきたい。
- ・要望に対しては、まず期間限定の試行的運行で状況を確認し、利用者が増えなければやめるなど、ルールを決めて要望に対応していくのが良い。
- ・現状では、路線バスへの影響はあまりないと思われるが、引き続き影響が出ないようにお願いしたい。

### （２）コミュニティバス北部循環市立病院線の運行改善について

- ・コミュニティバス北部循環市立病院線の運行改善案について、改善内容、利用状況を報告した。
- ・予約型乗合バスの利用方法がまだ正しく周知されていない。
- ・地元高齢者の憩いの場としてよく利用される皆楽荘に乗り場が無いので、至急設置して頂きたい。また、エリア外の藤沢市遠藤地区にも地元住民がよく使う施設があり、そちらへの乗り場設置が利用者増加につながるのではないかと。
- ・皆楽荘については設置に向けて調整している。設置に向けた課題もあり、至急取り組んでいく。
- ・理解度が低い点については、地元の方へ伺い、老人会などで使い方についてレクチャーさせて頂くことを考えている。
- ・茅ヶ崎市と藤沢市の市境が入り組んでいるところであるが、あまり行政界にとらわれず、前向きに検討してもらえると良い。
- ・タクシーと予約型乗合バスの役割分担をどう考えるのか。
- ・タクシーとの違いは、予約型乗合バスは、あくまで乗合所間の移動であること、運行時間帯が限られることなどで、タクシーの方が利便性が非常に高い。今後、タクシーへの影響も十分考慮して行きたい。

### **(3) 茅ヶ崎駅北口周辺地区の交通環境の改善について**

- ・茅ヶ崎駅北口周辺地区での交通環境の改善について、現状と課題、今後の課題について示した。
- ・茅ヶ崎駅前交差点から北側方向が渋滞しているが、これは日常的なものか。日常的なものであるならば、検討の範囲をもう少し広げて、検討する必要があるのではないか。
- ・国道1号の混雑緩和のために、新湘南バイパスの無料化あるいは料金値下げを考えてはどうか。
- ・無料化実験の時に国道1号の混雑が緩和したことが確認されているので、混雑によりバス交通を含め大きな社会的損失が発生していることを示し、料金値下げが社会的意義あることを訴えていくことが良いのではないか。
- ・茅ヶ崎駅前はかなり交通混雑が生じており、辻堂方面等のバスは一里塚通りを経由するように考えてはどうか。
- ・いろいろな可能性を考慮して可能な限りのメニューを抽出し、試行実験等で検討していくと良い。

### **(4) 平成26年度茅ヶ崎市生活交通改善事業計画(バリアフリー化設備等整備事業)(案)について**

- ・平成26年度茅ヶ崎市生活交通改善事業計画(バリアフリー化設備等整備事業)(案)について、報告を行い、承認の依頼を行った。
- ・異議はなく承認された。

### **(5) 意見交換**

- ・バスとコミュニティバス、タクシーと予約型乗合バスの役割分担について、これからしっかりと議論していく必要がある。
- ・この会議は、乗合の乗り物のあり方等について、基本的な考え方を繰り返し議論していく場である。オープンにしてどんどん議論していく。

以上